



診療計画説明書

経カテーテル肝動脈塞栓術(TAE)(CDDP)焼骨

終了基準	発熱がない / 穿刺部に問題がない											
経過	入院日	治療前日	治療当日前	治療当日後	術後1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	術後7日目(退院)	
日付	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
達成目標	・手術について理解できる ・身体的準備ができています			・嘔吐、腹痛がない ・解熱剤にて体温のコントロールができる ・穿刺部に問題がない ・痛みのコントロールができる						・日常生活の注意点について理解できる		
検査処置	・身長・体重測定をします ・名前を確認するためのバンドを右手に巻きます	・指示があれば血栓を予防するためハイソックスの着用テストをします	・朝、採血があります ・アンギオ用ディスポ検査着、ディスポパンツまたはテープ式オムツに着替えます ・指示あれば試着した血栓を予防するためのハイソックスを履きます ・右手に点滴の針をいれます	・帰室時、帰室1、2、3時間後まで検温に伺います。穿刺部位が出血していないか観察します(止血状況によって検温回数が増えることがあります) ・治療室で穿刺部位に圧迫ベルトをまきます。医師の指示のもと減圧していきます	・朝、採血があります ・朝、主治医にて圧迫ベルトをはずし、消毒し絆創膏を貼ります	→ 出血なければ絆創膏をはがします(出血していれば、消毒し絆創膏を貼り替えます)			・朝、採血があります	・退院の際、名前を確認するためのバンドをはずします		
注射薬内服薬	・現在内服している薬、入院前から中止している薬、抗凝固薬がありましたら 医師、看護師にお知らせください		・朝、胃薬を内服します ・検査前に抗生物質の点滴を投与します ・検査出しが2番目以降であれば10時から点滴を開始します ・搬出時に吐き気止めを内服します	・点滴があります ・抗生物質の点滴を行います	→ 経過により点滴が終了となります							
食事	・一般食、または必要時特別食となります	・夜21時より絶食です	・医師の指示で絶食となります ・検査前まで少量なら水分摂取可能です	・飲水や食事はできませんが、うがいできますので看護師にお伝え下さい ・治療後3時間経過し、状況に応じて、医師の指示にて飲水の許可が得ます	・状況に応じて、医師の指示にて朝から食事摂取の許可が得ます							
安静	・病院内自由です		・病棟内自由です	・治療後、医師の指示にて床上安静です。3時間経過し、状況に応じて、出血なければ翌朝までトイレ歩行可となります	・病棟内自由です		・病院内自由です					
排泄	・入院時から治療後3日目までは尿量測定があります		・治療前に尿の管をいれます	・安静解除後に尿量測定可能であれば尿の管を抜きます。(止血困難な場合や尿量測定が困難が予測される場合は翌日まで尿の管を入れたままとなることがあります) ・床上安静の指示がある際、排便がしたい場合はお知らせください。ベッド上にて差込便器を使用させていただきます	・治療後3日目まで尿量測定があります			・尿量測定が終了となります(医師の指示にて継続することがあります)				
清潔	・シャワーを浴びることができます				・看護師が体拭きにうかがいます(不自由なところは看護師が介助します)		・医師の指示にて発熱がなければシャワーを浴びることができます					
指導説明	・ご不明の点は医師または看護師にお尋ね下さい  ・各種同意書類を提出してください ・治療に必要な物品を確認します ・来週、家族とともに栄養指導をうけていただきます		・入れ歯、指輪、ピアス、コンタクトレンズ、眼鏡、時計などは外して下さい ・ご家族の方は治療中、自室かデイルームにてお待ち下さい	・発熱時、疼痛時、吐き気時など何か症状がありましたら看護師にお伝え下さい。医師指示のもと対応します	・発熱や疼痛などの苦痛がないよう観察し医師指示のもと対応します ・何か変わったことがありましたら、医師または看護師にお尋ね下さい			・必要時、退院日までに栄養指導があります  ・退院について不安なことがありましたら、いつでもご相談ください ・退院後の生活・外来受診について説明があります 				

※病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わります  
※入院期間や治療内容は現時点で予想できるものであり、症状により変わります